



新型コロナの困難を乗り越える為の新しい寄附返礼プログラム、新作委嘱パトロン一口目が決定

作曲家、薮田翔一氏による弦楽四重奏作品

日本センチュリー交響楽団では一定額以上の寄付を頂いた方のお名前を、楽団が初演する作品のご依頼者（世界初演作品委嘱パトロン）として音楽史に残す寄付返礼プログラムを実施しております。この度このプログラムによる委嘱作品第1作としまして、作曲家、薮田翔一氏による弦楽四重奏作品をセンチュリー豊中名曲シリーズ Vol.16 プレパフォーマンス&トーク（豊中市立文化芸術センター、2021年1月31日）にて初演いたします。

プレパフォーマンス&トークは、センチュリー豊中名曲シリーズの当日、開演前に開催しており、その日に日本センチュリー交響楽団が演奏します演奏曲目（クラシック作品）からテーマを決め、そのテーマに基づき現代作曲家、特に大阪や関西に縁のある作曲家に作曲を依頼。その新作の初演とともに作曲家自身が自作や基となったクラシック作品について解説をおこない、現代の音楽を味わいながら、これから演奏されるクラシック作品についても知ることで、過去と現代を繋げるプログラムです。

作品のご依頼者（パトロン）としてご寄付をいただきました Moa 様はイラストやゲーム制作を手掛けるクリエイターで、当楽団への支援そして、クラシック作品をテーマにしつつ、現代音楽を積極的に初演する本プログラムに賛同いただき、世界初演作品委嘱パトロンとしてご支援をいただいております。

楽団運営への支援とともに、同時代の私たち自身の文化を生む出す芸術活動への支援、同じ時代を生きる作曲家との共同作業を通じて作曲家、演奏家、聴衆を繋ぐ活動の支援としてもユニークなプログラムである「世界初演作品委嘱パトロン」制度による第1作の披露を取材いただけますと幸いです。当団も新型コロナウイルス影響で経済的に大きな影響を受けておりますが、その環境の中でも関西から現代の作曲家たちとともに同時代の音楽創造を発信するオーケストラとしての役割を担いたく、本世界初演作品委嘱パトロンに賛同くださる方を引き続き切望しておりますので、取材の際にはその点にも触れていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.16 プレパフォーマンス&トーク

日時 2021年1月31日（日）13:45 開場、14:00 開演、14:35 終演予定

会場 豊中市立文化芸術センター多目的室（大阪府豊中市曾根東町 3-7-2）

入場無料、先着 80 名

出演 薮田翔一（作曲家）、日本センチュリー交響楽団楽団員による弦楽四重奏

内容 薮田翔一：弦楽四重奏曲の新作初演、作曲家によるトーク



藪田 翔一（作曲家）

東京音楽大学大学院作曲家修了。第70回ジュネーヴ国際音楽コンクール作曲部門優勝。ウィーンコンチェルトハウス100周年作曲賞最優秀作品。SORODHA国際作曲コンクール第1位、カジミエシュ・セロツキ国際作曲コンクール第2位、第3回クロアチア国際作曲賞NEW NOTE2位、日本音楽コンクール2位等、入賞歴多数。トロンボーン・オブ・ザイヤー2011作曲賞。文化庁長官表彰（国際芸術部門）。19年にはNHK交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪等からの委嘱作品が初演され、今最も注目されている作曲家の一人である。

同日開催 センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.16

日時 2021年1月31日（日）14:15 開場、15:00 開演

会場 豊中市立文化芸術センター 大ホール（大阪府豊中市曾根東町3-7-2）

指揮 秋山和慶 ヴァイオリン 辻彩奈

プログラム モーツァルト：交響曲第25番ト短調、ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調、
ブラームス：交響曲第2番ニ長調

※プレパフォーマンス&トークで演奏します藪田翔一氏の作品は上記プログラムをテーマにした新作です。

【本件へのお問合せ】

公益財団法人日本センチュリー交響楽団
豊中市立文化芸術センター内
大阪府豊中市曾根東町3-7-2

TEL：06-6864-3901、Email:kakitsuka@toyonaka-hall.jp

ウェブサイト：<https://www.century-orchestra.jp>

担当：柿塚